概 況 調 査 票

上永谷の天神社のカシ					No	012
調査日	平成19年07月28日(土)	天 候	晴 れ	主任調査員	吉田 義隆	
樹種名	アカガシ	学 名	*Quercus acuta Thunb.*	科 名	ブナ科	
所有者又は管理者	氏 名	永谷天満宮	所在地	横浜市　港南区上永谷5-1-5		
	種 別	○1. 公共機関 ◉2. 寺 社 ○3. 企 業 ○4. 個 人 ○5.その他民有				
樹木状況	◉1.単 木 ○2.生 垣 ○3.樹群中 ○4.その他（　　）					
生育環境の状況	立地場所	○1.庭園・屋敷林 ◉2.寺 社 ○3.街 路 ○4.ビル周辺 ○5.公 園 ○6.その他（　　）				
	周囲の状況	○1.芝 生 ◉2.樹 林 ○3.建物の間 ○4.道 路 ○5.河 川 ○6.耕 地 ○7.その他（　　）				
	日照条件	◉1. 良 ○2.普 通 ○3.やや不良 ○4.不 良				
	土地の傾斜	○1.平坦: 0°ー 5° ○2.緩傾: 5°ー15° ◉3.中傾:15°ー30° ○4.急傾:30°ー45° ○5.嶮傾:45° 以上 傾斜方向（ 東 ）				
	土 壌	◉1.自然土 ◉a.堆積土 ○b.崩積土 ○c.削剥土 ○d.その他 ○2.盛土・客土 ○3.切土				
	根元近くの工作物	○1.縁 石（素材等:　　）○2.植 桝（素材等:　　） ○3.その他（　　）				
管理状況	1.柵 ○有 ◉無 ［有の場合:a.高さ(　　)cm b.素材(　　)］ 2.支柱 ○有 ◉無 3.剪定 ○強 ○弱 ◉無 4.定期的剪定 ○有 ◉無 5.施肥 ○有 ◉無 ［有の場合: a.回数(　　) b.量(　　) c.種類(　　)］ 6.薬剤散布 ○有 ◉無 ［有の場合: a.回数(　　) b.種類(　　)］ 7.その他 （　　）					
形状寸法	樹 高	13.5 m	幹 周	主幹胸高(1.2m)の周囲長 2.70 m		
	株立本数と周囲長	1 本	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩			
	枝下高	4.5 m	枝 張	東 6.3 西 2.9 南 11.4 北 2.8 m		
	樹 齢	370 年	樹齢根拠	推 定		
	根元の状況	○1.裸地 ◉2.草地・地被類 ○3.灌木・低木 ○4.舗装 （　　） ○5.覆土 厚さ(　　) cm 土性(　　) ○6.その他(　　)				
特記事項	・主幹から大枝が南側に大きく張出しているが、枝先は枯れている ・指定当時は株元から3本立であったが、現在は南側の1本以外は枯れている （近年神主が交代するなど枯損当時の状況が分かる人が神社にはいないため、枯損理由は不明） ・しめ縄あり					

外 観 等 調 査 票

上永谷の天神社のカシ						No	012
樹 種	アカガシ	調査日	平成19年07月28日(土)	天 候	晴 れ	樹木医	吉田 義隆

外 観 調 査

	評 価	0	1	2	3	4	
樹木の活力度	樹 勢	旺盛な生育状況を示し被害が全くみられない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状態が劣悪で回復の見込みがない	ほとんど枯死	
	樹 形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが、自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊している	

被害の状況	被害の有無	○ 無 ◉ 有
	被害の部位	◉ 大枝 ○ 大枝付け根 ◉ 幹 ○ 幹分岐部 ○ 根元 ○ 根系
	被害部の概要 その他	・大枝の先端枯死 ・主幹先端部枯死、腐朽 ・3本の株立のうちの2本は枯損消失している
処置	処置の必要性	○ 無 ◉ 有 （ ○ 緊急を要す ○ 中期的に対応が必要 ◉ 長期的には対応が必要 ）
	処置内容	・枯死枝を剪定除去 ・樹勢の衰えが明らかで、詳細な診断を行った上で、樹勢回復など治療を行うかどうかを判断する必要がある

名 木 実 態 調 査

樹木の価値	景観性	○ 遠方からの視認性が高く、シンボルやランドマークとしての価値が高い ○ 周辺樹木と一体となって地域の景観形成に寄与している ○ 周囲から見えにくく、景観的価値は高くない ○ その他（ ）
	地域環境	◉ 緑陰による気温調節効果 ○ 防風効果 ○ 遮音効果 ○ その他（ ）
	生 態	○ 無 ○ 有（種類: ） その他特記:
保全実態	保全の主体	◉ 所有者 ○ 自治体 ○ その他（ ）
	助成の有無	◉ 無 ○ 有（内容: ）
	保全の内容	指定等: 市:名木古木
	その他特記	・立ち入り禁止の簡単な柵あり

診 断 ・ 治 療 履 歴

履歴時期		主治医:
治療内容		
主治医メモ		

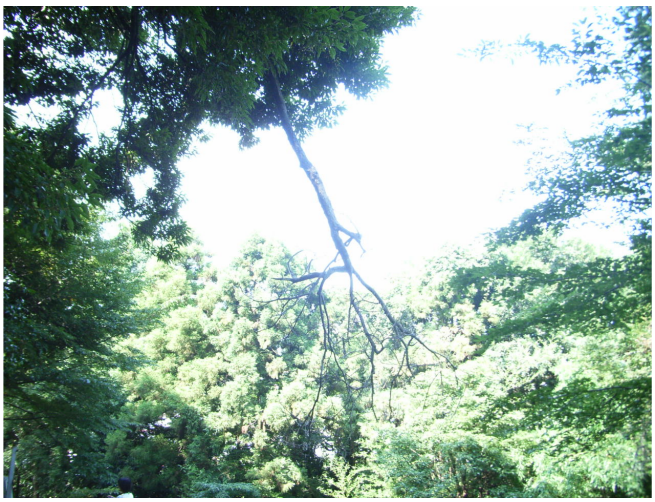
樹 形 写 真

上永谷の天神社のカシ	No	012

東　面	西　面
・主幹の右の空間に2本の株立幹があったが枯損する。左側に伸びた大枝の先端は枯れている	・手前が神社の社があり急傾斜となっている ・周辺に他の樹々の枝が生い茂っている
南　面	**北　面**
・手前の斜面に杉の幼木が植栽されている ・南側は明るいが風当りが強そうである	・株元に枯損した2本の跡がある

被害部等詳細写真

上永谷の天神社のカシ	No	012

詳細写真−1	詳細写真−2
・根元の状況 ・中央下部が枯れた幹の跡	・枝先の枯死の状況
詳細写真−3	**詳細写真−4**
	
・枝先の枯死の状況	・手前の太い枝が南側に伸びている。